

# 決算審査特別委員会

富士宮市議会の各会派が選ぶ！

## 令和6年度決算の注目質疑

市の貯金である財政調整基金は前年度から約13億円増の86億7200万円、市債残高は8,980万円減りました。

財政の弾力性を示す経常収支比率は93.8%、借金返済額の財政規模に対する割合の実質公債費比率は3.6%、指数が高いほど財源に余裕があるといえる財政力指数は0.834となり、将来負担比率は生じていません。

### 決算審査特別委員会

#### 佐野寿夫委員長のコメント

2日間にわたり令和6年度決算審査特別委員会を全委員出席のもと開催しました。歳入では、全般について多くの質疑が出され、歳出では特に、自治体全体の運営を支えるための基礎的な経費である総務費に議論が集中しました。富士宮市病院事業決算認定では、現状と今後の病院事業をめぐって活発な質疑が行われました。2日目は19時頃まで審議を尽くし、全会一致で可決すべきものと決定いたしました。



▲佐野寿夫 委員長

### 討論

令和6年度富士宮市一般会計決算（認第1号）について、本会議で行われた討論内容を要約し、以下のとおり掲載します。



#### 賛成討論 赤池 弘源 議員

物価高騰や社会保障費の増大など厳しい環境の中でも富士宮市は生活支援と将来投資の両立を実現しました。歳入645億円、歳出612億円で約27億円の黒字を確保し、令和7年度の財政需要に対応するため基金の積立も行われました。自主財源58.9%と安定した財政運営が続いている。なお、市の財政状況を客観的に表す4つの指標「健全化判断比率」は良好で短期的な視点でなく長期的安定を重視した運営が続けられています。

→本会議で採決した結果、全会一致で令和6年度富士宮市一般会計決算（認第1号）を認定しました。